令和6年度　第2回
宇都宮市デジタル共創懇談会

【議事概要】
　令和７年度における宇都宮市のＤＸに係る取組のイメージについて
事務局から報告するとともに，各団体の取組等について意見交換を行うもの

令和7年1月30日

次 第

宇都宮市 Utsunomiya City

１ 開会

２ 議 事

⑴ 令和７年度における宇都宮市のＤＸに係る取組のイメージについて

⑵ 意見交換

３ その他

４ 閉会

宇都宮市デジタル共創懇談会　委員名簿

宇都宮市 Utsunomiya City

分野	団体名	役職	委員名
医療・福祉	一般社団法人　宇都宮市医師会	理事	天谷　健二
	一般社団法人　宇都宮市歯科医師会	専務理事	半田　功（欠席）
	社会福祉法人　宇都宮市社会福祉協議会	常務理事兼事務局長	宮前　俊哉
産業	宇都宮商工会議所	地域振興部長	中島　寿典
	公益財団法人　栃木県産業振興センター	専務理事	篠原　良一
	一般社団法人　栃木県情報サービス産業協会	副会長（人材育成委員会　担当）	秋間　忍
	(株)farmo	代表取締役	永井　洋志
市民団体	シニア生まれ変わりPJ　会いてぃ（IT）なかまの会	会長	藍原　安吉
	栃木県消費生活リーダー連絡協議会　宇都宮支部	会長/宇都宮支部長	熊倉　シゲ子
環境	宇都宮ライトパワー株式会社	取締役	宮崎　悠
	NPO法人うつのみや環境行動フォーラム	理事	増渕　弘子（欠席）
文化・芸術	公益財団法人うつのみや文化創造財団	常務理事　兼　事務局長	笹原　幸恵
学識経験者	国立大学法人　宇都宮大学	情報通信基盤センター長	永井　明
メディア	株式会社　下野新聞社	編集局デジタル報道部　部長	桐生　典夫
通信事業者	東日本電信電話株式会社	副支店長	松川　智久
シンクタンク	株式会社　あしぎん総合研究所	ITソリューション部長	鈴木　勉

宇都宮市デジタル共創懇談会　事務局

宇都宮市 Utsunomiya City

No.	所属・職名	氏名
1	宇都宮市CDXO補佐官	井出　昌浩
2	総合政策部デジタル政策課　主幹（デジタル活用担当）	亀澤　伸也
3	総合政策部デジタル政策課　主幹（システム最適化担当）	大久保　吉朗
4	総合政策部デジタル政策課　課長補佐	福富　隆史
5	総合政策部デジタル政策課　デジタル戦略グループ　係長	今崎　泰浩
6	総合政策部デジタル政策課　デジタル戦略グループ	石田　貴巳
7	総合政策部デジタル政策課　デジタル戦略グループ	篠原　智美
8	総合政策部デジタル政策課　デジタル活用グループ　係長	戸上　和明
9	総合政策部デジタル政策課　デジタル活用グループ　係長	川島　友美
10	総合政策部デジタル政策課　システム管理グループ　係長	菅原　秀明

（1） 令和７年度における宇都宮市のＤＸに係る取組のイメージについて

Ⅰ DX実現タスクについて

宇都宮市 Utsunomiya City

- 行政DX特有の背景を踏まえ，「市民視点」×「行政視点」の両面から，**サービス，手続・業務，人，環境の全ての要素におけるDX実現を目指し，8つの重点取組事項**として整理し，各重点取組事項に市として取り組むデジタルの施策・事業を位置付けた。（令和5年2月に策定）

	市民視点 （サービスデザインは市民視点で！）	行政視点 （前例にとらわれず，柔軟・迅速に！）
サービス	**①スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供等**（※） 「スーパースマートシティ」の名にふさわしい、市民の暮らしを快適・便利にするデジタルサービスを提供します 地域共生社会　地域経済循環社会　脱炭素社会　NCC ※地域団体・事業者を対象とした支援も含む	
手続・業務	**②スマート窓口の実現** すべての市民が，意識することなく最適なデジタル技術を活用して、いつでも・どこでも・簡単に手続が完結する窓口を実現します	**⑤業務のデジタル変革** 紙文化からの完全脱却、規制の抜本見直し、デジタルのフル活用により、デジタルを前提とした業務の在り方への大転換を図
人	**③ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾃﾞﾊﾞｲﾄﾞ対策・ﾃﾞｼﾞﾀﾙ人材育成** 市民がデジタルリテラシーを身に着け、デジタルを活用できるようにすることや、市民が安心してデジタルサービスを利用できるようにします	**⑥庁内DX人材の育成・** 全職員のデジタルリテラシーを底上げし、専門性の育成・適正配置することで、DX組織の確立を目指
環境	**④デジタル社会基盤の強化** マイナンバーカードやデジタル地域通貨、新たな通信環境など、ハード・ソフトのデジタルインフラを広く普及させることで、本市のデジタル社会基盤を確固たるものとします	**⑦スマートワークの実** 執務環境を全面刷新し、デジタルを最大限に活用し でも職員の能力が最大限に発揮される環境を整備し

⑧データの利活用

「**ビジョンの達成に向けたバックキャストの視点**からの新たな取組と**現状・課題に基づくフォアキャストの視点**からの取組を掲げ，日々進展するデジタル技術を採用するため，毎年度見直し（ローリング）することとしている。

ビジョン	R6施策・事業（毎年度ローリング）	
	フォアキャストの取組	バックキャストの取組
誰もが円滑に移動できる交通環境づくり	▲ＬＲＴ沿線まちづくりにおけるICT等の先進技術の活用 ▲シェアリングモビリティ推進事業 ▲交通ICカード「totra」の	▼公共交通における自動運転技術の実装に向けた環境づくり
市民等の利便性や快適性が向上する都市基盤づくり	▲交通結節点におけるデジタ ▲観光拠点や交通結節点への ▲目指すべき都心部の将来像の共有に向けたＶＲの作成	—
安全・安心に暮らすことができる都市基盤づくり	▲リモートセンシング技術を活用した森林施業区域の確認 ▲河川監視の強化に向けたワンコイン浸水センサ実証実験の実施 ▲上下水道の効率的な維持管理に向けたAI技術等の活用 ▲溢水被害等への遠隔監視システムの導入・導入支援 ▲災害やインフラ等の保守点検へのドローンの活用 ▲中継ポンプ場遠隔監視システムのモバイル化 ▲施工管理業務等へのモバイル端末の実証導入 ◇人工衛星を活用した管路情報の解析	▼人工衛星等を活用したインフラの管理 （⇒◇人工衛星を活用した管路情報の解析） ▼AIカメラ等を活用した安全・安心なまちづくりに向けた実証 ▼デジタルツイン（３Ｄ都市モデル）を活用した防災シミュレーション

黄色の網掛けは令和6年度からの新たな施策・事業

▲：フォアキャストの取組，▼：バックキャストの取組，
◇：バックキャストの視点から生まれたフォアキャストの取組

２　ＤＸ実現タスクに掲げた目標（ＫＰＩ）の達成状況（令和６年１２月時点）

宇都宮市 Utsunomiya City

➢ タスクに掲げた８つの重点取組事項のＫＰＩについて，行政としての取組はおおむね順調に進捗しているが，市民満足度（デジタルサービスの恩恵を享受している市民の割合）の向上につながっているかという点では，まだ十分な成果が見られていない状況である

	市民視点	行政視点
サービス	①スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供等 デジタルサービスの恩恵を享受している市民の割合(%)： R4:46.8　⇒R6:49.5　⇒R9:66.0	
手続・業務	②スマート窓口の実現 行政手続オンライン化数(手続)： R4:100　⇒R6:441　⇒R9:500	⑤業務のデジタル変革 AI・RPA活用業務数(業務)： R4:14　⇒ R6:32　⇒R9:120
人	③デジタルデバイド対策・デジタル人材育成 宮デジサポーター養成人数(人)： R4:0　⇒R6:82　⇒R9:120	⑥庁内ＤＸ人材の育成・確保　早期に達成!! ﾛｰｺｰﾄﾞ ﾉｰｺｰﾄﾞ開発ができる職員数(人)： R4:30　⇒R6:326　⇒R9:300
環境	④デジタル社会基盤の強化 マイナンバーカード普及率(%)： R4:49　⇒R6:77　⇒計画期間中:100	⑦スマートワークの実現 執務室改善着手フロア数(部署)： R4:1　⇒R6:28　⇒R9:本庁舎全部署(72)
データ	⑧データの利活用　国の推奨データセット公開割合(%)： R4:78　⇒R6:集計中　⇒R9:100	

３　ＤＸ実現タスク更新のポイント

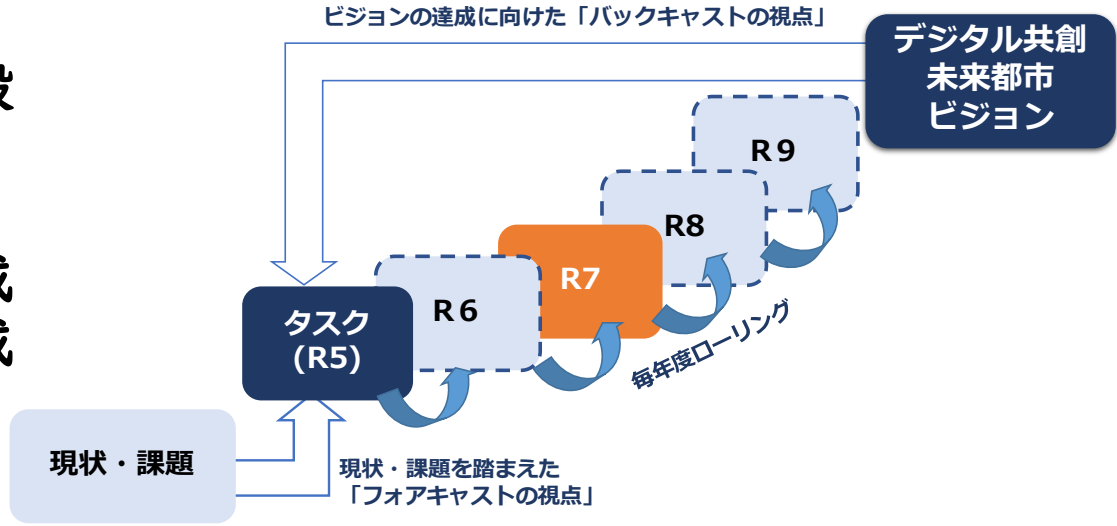
宇都宮市 Utsunomiya City

⑴取組の更新（ローリング）

市民や事業者の皆様がデジタルの恩恵をより一層実感できるよう，先進技術や他自治体の事例を積極的に取り入れながら，取組をブラッシュアップします

【取組のイメージ】

①文化財のアーカイブ化・デジタルミュージアムの開設
②行政手続に係るリモート相談窓口の設置
③地域防災力の向上に向けた衛星通信の活用
④ＩＴパスポート等の取得支援等を通じたＤＸ人材育成
⑤市民によるデータを活用した地域課題解決の機運醸成



⑵指標（ＫＰＩ）の更新

ア　早期に達成した指標について，見直しを行います

・ローコード・ノーコード開発ができる職員数：300人
⇒ＤＸを実行する職員（主体性・意欲・知識を有する職員）

イ　国の基準等の見直しや，本市の取組状況を踏まえた見直しを行います

・AI・RPA活用業務数
・国の推奨データセット公開割合

①文化財のアーカイブ化・デジタルミュージアムの開設

宇都宮市
Utsunomiya City

事業概要
- 文化財のアーカイブ化，デジタルデータ作成
- デジタルミュージアムを作成し，デジタル化した文化財等を公開

⇒宇都宮の歴史文化への興味喚起
　宇都宮市への観光客の増加

宇都宮市文化財デジタルアーカイブ（イメージ）

高画質な画像で
文化財を紹介！


仏像などの彫刻


絵画


考古資料


歴史資料


史跡


建造物


天然記念物


民俗（動画）


みや遺産などの未指定文化財

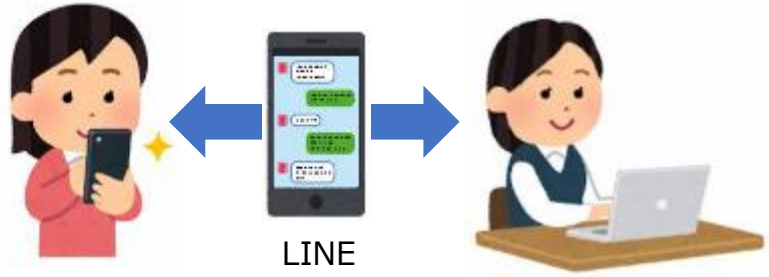
②行政手続に係るリモート相談窓口の設置

宇都宮市 Utsunomiya City

【将来的な市民の手続きスタイル】



「行かない窓口」の実現



市民　LINE（チャット機能）　市職員

⇒チャットで相談解決
⇒チャットで制度理解⇒オンライン申請

③地域防災力の向上に向けた衛星通信の活用

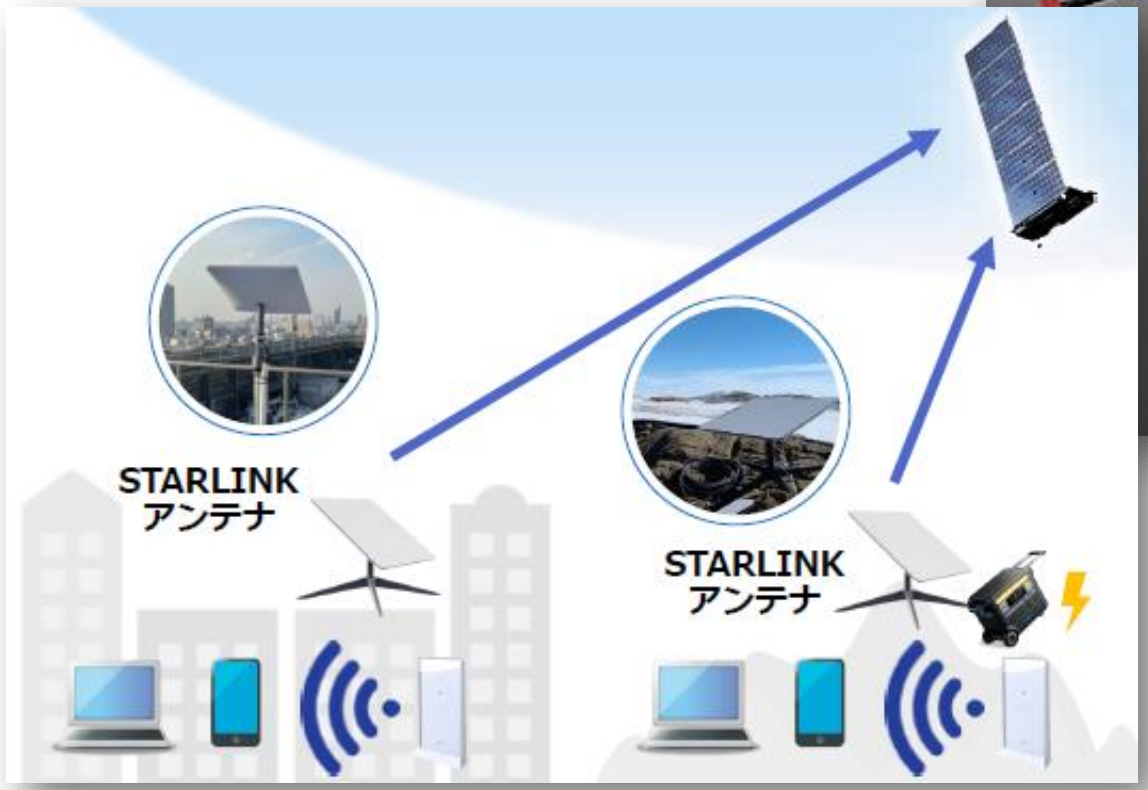
宇都宮市 Utsunomiya City

事業概要

・能登半島地震の教訓を踏まえ，災害時においても通信可能な衛星通信サービスを導入

⇒災害対応力の更なる強化
市民の安心・安全の確保





④ＩＴパスポート等の取得支援等を通じたＤＸ人材育成

宇都宮市 Utsunomiya City

事業概要
・情報系の資格試験に合格した職員に対して，
受験手数料を補助
⇒確実にＤＸを実行できる職員の育成・確保を図る

【宇都宮市ＤＸ人材育成プラン】（令和６年３月策定）

DX力の高さ

ＤＸ人材
【対象者】
ＤＸを主導する職員

【対象者】
ＤＸを実行する職員

ＤＸ人材候補者
【対象者】
デジタル分野に感度の高い職員

全職員

スキル	学習項目の内容
ICT応用	✓デジタル機器を使いこなすのに必要な知識（ITパスポートと同等以上）やＤＸを見据えた技能（ファシリテートスキル等）など実務的なデジタルスキルを習得している。

補助対象試験	ＩＴパスポート試験を始めとした情報系の資格試験（（独）情報処理推進機構が実施する資格試験）
補助対象者	宇都宮市職員で上記試験に合格した者
補助額	受験手数料全額（７，５００円）

ＩＴパスポート試験の合格を促すとともに，より上位の試験についても，支援を行っていく

⑤市民によるデータを活用した地域課題解決の機運醸成

2025.1.19・2.2に宇都宮市のオープンデータを活用し，地域課題や企業課題の解決に挑戦する，実践型のプログラム（イベントを開催）
⇒４２名が参加





市民が中心となり，データを活用した地域課題・企業課題の解決に取り組んでいきたい

参考

重点取組事項 ①スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供

地域共生社会に貢献するデジタル

「スーパースマートシティ」の名にふさわしい、
市民の暮らしを快適・便利にするデジタルサービスを提供します

KPI：デジタルサービスの恩恵を享受している市民の割合		
R４ ４６.８％	⇒	R９ ６６.０％

▲：フォアキャストの取組，▼：バックキャストの取組，
◇：バックキャストの視点から生まれたフォアキャストの取組

ビジョン	R7施策・事業（毎年度ローリング）						
	フォアキャストの取組	バックキャストの取組	R5	R6	R7	R8	R9
支え会える社会づくり	▲デジタルを活用した捜索システムによる認知症になっても安心して暮らせる環境整備 ▲「デジタル適応支援教室」による誰一人取り残さない教育の推進 【完了】~~▲ＳＮＳを活用したオンラインサロンの開設~~ ▲重層的支援体制におけるリモート会議の活用 ~~▲スマートフォンアプリを活用した障がい者支援~~ ⇒スマートフォンによる障がい者支援の充実 ▲オンライン会議等を活用した認知症サロンの相互交流支援 ▲タブレット端末等を活用した相談機能の充実	▼オンライン空間を活用した新たな「居場所」づくり	オンライン空間を活用した施策事業の検討		実証⇒実装		
健康で自分らしい生活ができる社会づくり	▲「健康ポイント」を活用した「自然に健康になれるまちづくり」の推進 ▲オンライン講座（健康講座等）の実施 ▲オンライン介護予防教室の実施 ▲医療・介護等のデータ分析による健康づくりや社会課題解決に向けた事業の立案	―					
誰もが時間の制約なくサービスを利用できる社会づくり	▲市公式LINE「教えてミヤリー」によるAI自動応答サービスの提供 ▲子育て支援アプリによる母子健康保健サービスの提供	▼スマートフォンアプリ等による一元的にサービスを提供する仕組みの検討	ｱﾌﾟﾘ統合の検討	アプリの順次集約 ポイントの一元化も併せて検討			

重点取組事項　①スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供

地域共生社会に貢献するデジタル

「スーパースマートシティ」の名にふさわしい、
市民の暮らしを快適・便利にするデジタルサービスを提供します

ＫＰＩ：デジタルサービスの恩恵を享受している市民の割合		
Ｒ４ ４６.８％	⇒	Ｒ９ ６６.０％

▲：フォアキャストの取組，**▼：バックキャストの取組**，
◇：バックキャストの視点から生まれたフォアキャストの取組

ビジョン	R7施策・事業（毎年度ローリング）						
	フォアキャストの取組	バックキャストの取組	R5	R6	R7	R8	R9
地域で学び活発に活動できる社会づくり	【完了】~~▲「うつのみやデジタルスクエア」を通じた地域団体の運営支援~~ ▲スマートフォンアプリを活用したまちづくり活動応援事業 ▲地域活動団体デジタル活用支援事業補助金 ▲スマートフォンの基礎的な操作方法等を学ぶ「スマホ基礎講座」の開催	―					
デジタルに不慣れな人にも優しい社会づくり	▲「宮デジサポーター」によるデジタル知識・技術の伝達・支援 ▲広報紙を活用したデジタルデバイド対策の推進 【新】▲老人福祉センターにおけるｅスポーツ体験会の開催 ◇本庁や地域行政機関へのデジタル活用支援員の配置	**▼デジタル機器を操作しなくともデジタルの恩恵を受けられる環境づくり** （⇒◇本庁や地域行政機関へのデジタル活用支援員の配置） **▼身近で操作しやすいデジタル（スマートスピーカー等）を用いた誰にでも優しい社会づくり**	**高度な知識なくデジタルの恩恵を受けられる環境づくりの検討**			**実証⇒実装**	

高齢者や情報弱者へのデジタル活用支援

重点取組事項　①スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供

地域経済循環社会に貢献するデジタル

「スーパースマートシティ」の名にふさわしい、
市民の暮らしを快適・便利にするデジタルサービスを提供します

ＫＰＩ：デジタルサービスの恩恵を享受している市民の割合		
Ｒ４ ４６.８%	⇒	Ｒ９ ６６.０%

▲：フォアキャストの取組，▼：バックキャストの取組，
◇：バックキャストの視点から生まれたフォアキャストの取組

ビジョン	R7施策・事業（毎年度ローリング）						
	フォアキャストの取組	バックキャストの取組	R5	R6	R7	R8	R9
新たなｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ等を創出できる社会づくり	▲イノベーション推進事業	▼地域経済の循環に資するデジタル地域通貨等の検討	デジタル地域通貨等のスキームの検討		デジタル地域通貨等のスキームの検討		
全ての事業者がＤＸを推進できる社会づくり	~~▲「うつのみやデジタルスクエア」による事業者の支援~~ ⇒▲金融機関と連携した事業者のデジタル化支援 ▲労働生産性の向上に向けたデジタル化促進 ▲ECサイトを活用した宇都宮産農産物ＰＲ・販路拡大促進 ▲中小企業等のICT導入・活用に対する支援 ▲ＩＣＴ機器等の導入支援によるスマート農業の推進 ▲ＩＴリテラシー向上に向けたＩＴパスポート資格取得支援	▼サブスクリプション型などのサービスの導入支援の検討	ｻｰﾋﾞｽﾞ導入支援の検討		実証⇒実装		
来訪者等の利便性等が向上する社会づくり	▲デジタルマーケティングによる誘客・周遊促進 ▲観光拠点等におけるデジタルサイネージを活用した観光情報の発信 【完了】~~▲デジタルマップの活用による観光周遊促進~~ ▲ＭＩＣＥ誘致・受入におけるＤＸ推進	▼オンライン空間を活用した戦略的観光の推進	ｵﾝﾗｲﾝ空間を活用した施策の検討		実証⇒実装		
都市ブランドが高められる社会づくり	~~▲史跡等文化資源のＶＲによる再現・公開~~ ~~▲歴史文化資源のデジタル化による再現・公開~~ ⇒▲文化財のデジタル化による再現・公開 ▲先進技術を活用したスポーツイベントの映像配信	▼文化芸術分野におけるデジタルツイン等の活用	デジタルツイン等を活用した施策事業の検討		実証⇒実装		

中小企業のDX推進

文化・社会教育分野でのデジタル活用

重点取組事項　①スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供

脱炭素社会に貢献するデジタル

「スーパースマートシティ」の名にふさわしい、
市民の暮らしを快適・便利にするデジタルサービスを提供します

ＫＰＩ：デジタルサービスの恩恵を享受している市民の割合		
Ｒ４ ４６.８％	⇒	Ｒ９ ６６.０％

▲：フォアキャストの取組，▼：バックキャストの取組，
◇：バックキャストの視点から生まれたフォアキャストの取組

ビジョン	R7施策・事業（毎年度ローリング）						
	フォアキャストの取組	バックキャストの取組	R5	R6	R7	R8	R9
再生可能エネルギーの導入と活用が進む社会づくり	▲地域内の再生可能エネルギーの利活用の推進 ▲スポーツ施設等の脱炭素化に向けたデジタル技術の活用 ◇地域内交通におけるエネルギーマネジメントシステムの運用 ◇公共交通脱炭素化普及促進事業費補助金 【新】◇脱炭素先行地域におけるエネルギーマネジメントシステムの構築	▼「エネルギーマネジメント」による再エネ利用の最適化 （⇒◇地域内交通におけるエネルギーマネジメントシステムの運用） ▼ＩｏＴを活用した分散型エネルギーの最適化 ▼EVモビリティ等の導入支援 （⇒◇公共交通脱炭素化普及促進事業費補助金 ◇脱炭素先行地域におけるエネルギーマネジメントシステムの構築） ▼ＳＤＧｓへの貢献を目指した，事業活動が自然環境へ与える影響のデジタルによる可視化	エネルギーの最適化やEVモビリティ等の導入に向けた各施策の検討		実証⇒実装		
				事業活動が自然環境へ与える影響のデジタルによる可視化に向けた取組の検討			実証⇒実装
エコで便利なライフスタイル等が定着する社会づくり	▲環境配慮行動の促進に向けたポイント事業 ▲SNSなどデジタルを活用した戦略的な広報 ~~▲電子図書館システムを活用した電子図書の推進~~ ⇒▲電子図書館システムを活用した電子書籍サービスの推進 【新】▲水道スマートメーターの導入	▼スマートワーク・スマートオフィス化の推進	スマートワーク・スマートオフィスの実装				

重点取組事項　①スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供

まちの基盤NCCに貢献するデジタル

「スーパースマートシティ」の名にふさわしい、
市民の暮らしを快適・便利にするデジタルサービスを提供します

ＫＰＩ：デジタルサービスの恩恵を享受している市民の割合		
Ｒ４ ４６.８％	⇒	Ｒ９ ６６.０％

▲：フォアキャストの取組，▼：バックキャストの取組，
◇：バックキャストの視点から生まれたフォアキャストの取組

ビジョン	R7施策・事業（毎年度ローリング）						
	フォアキャストの取組	バックキャストの取組	R5	R6	R7	R8	R9
誰もが円滑に移動できる交通環境づくり	▲ＬＲＴ沿線まちづくりにおけるICT等の先進技術の活用 ▲シェアリングモビリティ推進事業 ▲交通ICカード「totra」のｻｰﾋﾞｽ拡大(ﾗｲﾄﾗｲﾝ、路線バス、地域内交通)	▼公共交通における自動運転技術の実装に向けた環境づくり	実装に向けた支援施策等の検討		実証⇒実装		
市民等の利便性や快適性が向上する都市基盤づくり	▲交通結節点におけるデジタルサイネージ等を活用した効果的な情報発信 ▲観光拠点や交通結節点へのWi-Fi環境の整備 ~~▲目指すべき都心部の将来像の共有に向けたＶＲの作成~~ ⇒▲都心部の将来像の市民理解度促進に向けたＶＲの作成	―					
安全・安心に暮らすことができる都市基盤づくり	▲リモートセンシング技術を活用した森林施業区域の確認 ▲河川監視の強化に向けたワンコイン浸水センサ実証実験の実施 ▲上下水道の効率的な維持管理に向けたAI技術等の活用 ▲溢水被害等への遠隔監視システムの導入・導入支援 ▲災害やインフラ等の保守点検へのドローンの活用 【完了】~~▲中継ポンプ場遠隔監視システムのモバイル化~~ ▲施工管理業務等へのモバイル端末の実証導入 【新】▲画像解析技術等を用いたインフラ施設点検 ◇人工衛星を活用した管路情報の解析	▼人工衛星等を活用したインフラの管理 （⇒◇人工衛星を活用した管路情報の解析） ▼AIカメラ等を活用した安全・安心なまちづくりに向けた実証 ▼デジタルツイン（３Ｄ都市モデル）を活用した防災シミュレーション	・人口衛星等を活用したインフラ管理の検討 ・AIカメラやデジタルツイン等の活用に係る各施策のスキームの検討		実証⇒実装		

重点取組事項　②スマート窓口の実現

すべての市民が、意識することなく最適なデジタル技術を活用して、
いつでも・どこでも・簡単に手続が完結する窓口を実現します

■ **KPI**

行政手続オンライン化数
（規制のない手続）

R4
100手続

→

R9
500手続

▲：フォアキャストの取組，▼：バックキャストの取組

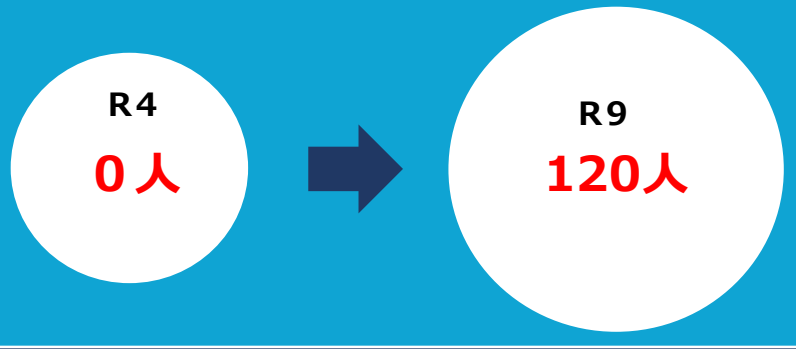
	R7施策・事業（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
行政手続オンライン化の加速	▲マイナポータル・電子申請共通システムによる行政手続のオンライン化 ▲市税等の各種公金のオンライン納付 ▲電子請求システムの活用 ▲インターネットによる支払明細提供サービスの実施 ▲定期支払機能の実施 ▲新たな公共施設予約・案内システムの導入 【新】▲行政手続に係るリモート相談窓口の設置 【新】▲電子契約システムの導入 【新】▲給排水工事申請の電子化及び手数料納付のキャッシュレス化の推進	**全行政手続のオンライン化推進**				
		優先的にオンライン化すべき手続への対応				
		規制見直し・業務見直し				
		オンライン決済化	基幹系システム等とのエンドツーエンド接続			
窓口サービスのDX推進	▲窓口DX（書かない窓口・SaaS）の実現 ▲窓口での大型モニター・タブレット端末等による情報提供 ▲混雑状況緩和に向けた情報提供・案内システムの活用 ▲行政窓口におけるキャッシュレスサービスの拡充 ▲多言語翻訳サービスの提供 ▲上下水道管路情報の電子閲覧	**窓口へのデジタルツールの導入推進**				
		デジタルツールの導入		書かない窓口の基幹系システム接続		
		窓口レイアウトの見直し				

手続き等がより便利になります

重点取組事項　③デジタルデバイド対策・デジタル人材育成

市民がデジタルリテラシーを身に着け、デジタルを活用できるようにし、
市民が安心してデジタルサービスを利用できるようにします

■KPI
宮デジサポーター養成人数



▲：フォアキャストの取組，**▼：バックキャストの取組**，
◇：バックキャストの視点から生まれたフォアキャストの取組

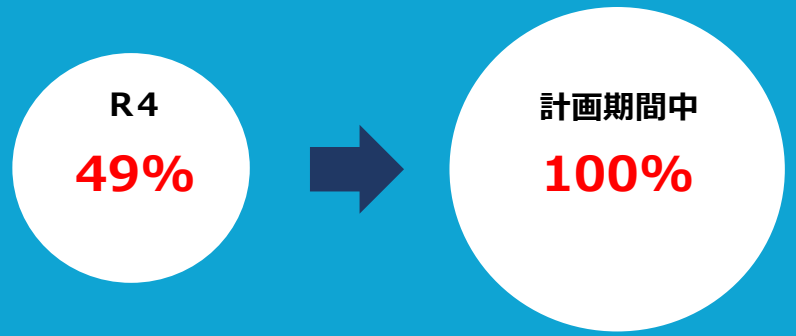
ビジョン	R7施策・事業（毎年度ローリング）						
	フォアキャストの取組	バックキャストの取組	R5	R6	R7	R8	R9
市民のデジタルリテラシー向上支援	▲市民に対する情報セキュリティの周知・啓発 【完了】~~▲「うつのみやデジタルスクエア」を通じたデジタルリテラシーの啓発~~ ▲デジタルスキル習得を通じた就労支援 ▲GIGAスクールの推進 ▲「宇都宮学」副読本のデジタル化	**▼次世代（小中高生）のデジタルリテラシーの向上（デジタルを活用した地域課題解決への関わりの機会の創出など）**		次世代・市民によるデジタルを活用した地域課題解決の検討			実証⇒実装
デジタルデバイド対策	▲「宮デジサポーター」によるデジタル知識・技術の伝達・支援〈再掲〉 ▲広報紙などを活用したデジタルデバイド対策〈再掲〉 ▲デジタルデバイド対策にかかる各種講座等の開催	―					

重点取組事項　④デジタル社会基盤の強化

マイナンバーカードやデジタル地域通貨、新たな通信環境などのデジタルインフラを広く普及させることで、本市のデジタル社会基盤を確固たるものとします

■KPI

マイナンバーカード普及率



▲：フォアキャストの取組，**▼：バックキャストの取組**，
◇：バックキャストの視点から生まれたフォアキャストの取組

ビジョン	R7施策・事業（毎年度ローリング）						
	フォアキャストの取組	バックキャストの取組	R5	R6	R7	R8	R9
デジタルインフラの充実	▲マイナンバーカードの普及促進 ▲５G基地局整備にかかる市有施設等の貸出および受付 【新】▲地域防災力の向上に向けた衛星通信の活用						
新たなデジタル活用基盤の構築	~~▲宇都宮市版データアーキテクチャの構築に向けたモデルアーキテクチャの検討~~ ⇒▲宇都宮市データ利活用推進指針の活用 ▲スマートシティ実現に向けた人流データ等の収集 【新】▲庁内データ連携基盤の構築に向けた検討	**▼本市ポイント事業の一元化の検討（デジタル地域通貨を含める）**	アプリ統合の検討	アプリの順次集約 ポイントの一元化も併せて検討			

レジリエンスとDX

重点取組事項　⑤業務のデジタル変革

紙文化からの完全脱却、規制の抜本見直し、デジタルのフル活用により、デジタルを前提とした業務の在り方への転換を図ります

■ KPI
AI/RPA 活用業務数

R4 **14業務** → R9 **120業務**

■ KPI
標準化共通化 対応システム数

R4 **0件** → R7 **20件**

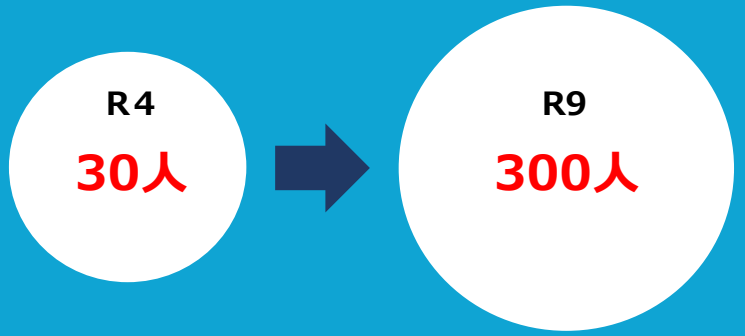
▲：フォアキャストの取組，▼：バックキャストの取組

	R7施策・事業（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
業務におけるデジタルツールの活用促進	▲AIを活用した業務効率化の推進 ▲RPAの導入を通じた業務プロセス改善の推進 ▲共通事務を効率化するデジタルツールの活用促進 ▲ローコード・ノーコード型システム開発・活用の推進 ▲二十歳を祝う成人のつどいなどにおける来場者管理システムの活用 ▲屋外広告物掲出状況実態調査　▲生成AIの活用 【新】▲デジタル採点ソフトの活用 【新】▲給排水設備工事におけるリモート検査の導入	AI・RPA等の利活用推進				
		ノーコード・ローコードツールの導入・運用		新たな共通事務会改善ツールを順次，導入		
		システム標準化・共通化				
情報システムの最適化・クラウド化	▲自治体情報システムのシステム標準化・共通化・クラウド化 ~~▲クラウド型業務システムの活用~~ ⇒▲施設型給付業務クラウドシステムの活用 ▲行政としての機能を維持・継続できる強靭性（レジリエンス）の確保	国が示す標準仕様書への適合				
		ガバクラへの移行検討				

重点取組事項　⑥庁内DX人材の育成・確保

全職員のデジタルリテラシーを底上げし、
専門性の高いDX人材の発掘・育成・適正配置することで、DX組織の確立を目指します

■KPI
ローコード・ノーコード開発ができる職員数



令和6年度中に目標（KPI）を達成したことから，新たな目標を設定
⇒DXを実行する職員

▲：フォアキャストの取組，▼：バックキャストの取組

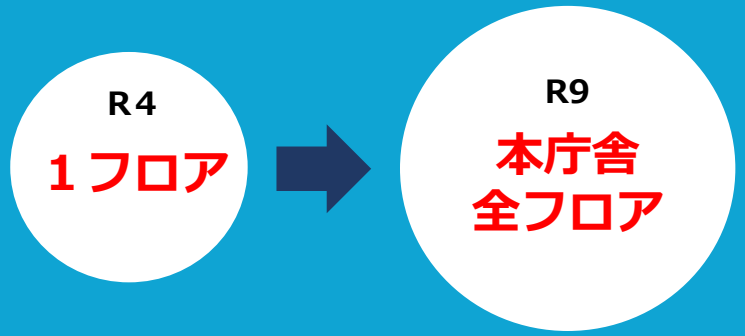
	R7施策・事業（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
職員のDXリテラシー向上	▲DX推進部門におけるDX人材の発掘・育成 ▲ローコード・ノーコード型システム開発・活用の推進 ▲全職員のデジタルリテラシーの底上げ ▲情報セキュリティ対策の推進 ▲行政としての機能を維持・継続できる強靭性（レジリエンス）の確保（再掲） 【新】▲ＩＴパスポート等の取得支援等を通じたDX人材育成	全職員のDX研修の実施				
		DX推進部門の人材発掘・育成				
外部デジタル専門家等の活用	▲CDXO補佐官・DX専門官の任用 ▲デジタル専門家などの外部ノウハウの積極的な活用	CDXO補佐官試行任用	CDXO補佐官の任用			

市職員のリスキリングを通じて，
組織のDX推進力の向上を図ります

重点取組事項　⑦スマートワークの実現

執務環境を全面刷新し、デジタルを最大限に活用することで、
いつでも・どこでも職員の能力が最大限に発揮される環境を整備します

■ **KPI**
執務室改善着手フロア数



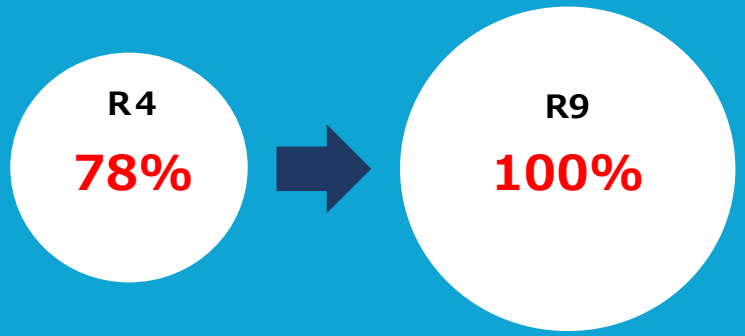
▲：フォアキャストの取組，▼：バックキャストの取組

	R7施策・事業（毎年度ローリング）	R5	R6	R7	R8	R9
スマートワークを実現するデジタル技術の活用	▲庁内ネットワークの無線化と職員端末のモバイル化 ▲テレワークの推進（遠隔会議・モバイルワーク含む） ▲ビジネスチャットツールによる情報共有の円滑化 ▲スマートフォンなどのデバイスを活用したコミュニケーションの活性化 【新】▲働き方の改善につながる新たなネットワークモデルの構築	無線化		全端末モバイル化		
執務環境の抜本的な改善	▲効率的で多様なワークスタイルを実現する新しいオフィス環境の整備	内部管理部門の環境整備		窓口部門のレイアウト等の検討	窓口部門の環境整備	

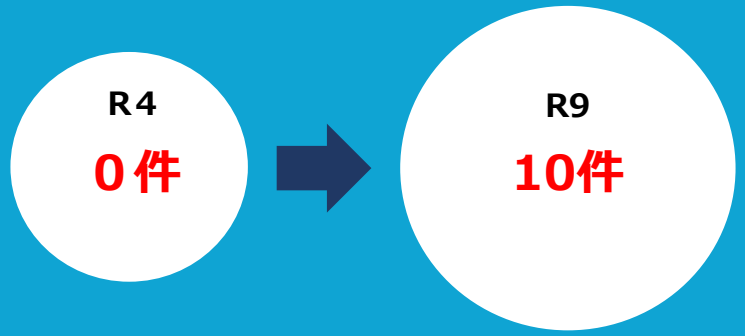
重点取組事項　⑧データの利活用

さまざまなDX実現の取組から得られるデータを戦略的に「つくり」「整え」、
有機的に「つなげる」ことで、市民・事業者・行政で共有し「使える」仕組みを構築します

■KPI
国の推奨データセット公開割合



■KPI
行政課題の解決に資するデータを活用した伴走型モデル事業数



▲：フォアキャストの取組，**▼：バックキャストの取組**，
◇：バックキャストの視点から生まれたフォアキャストの取組

ビジョン	R7施策・事業（毎年度ローリング）						
	フォアキャストの取組	バックキャストの取組	R5	R6	R7	R8	R9
データをつくる・つなげる・使う	▲オープンデータの利活用促進の強化 ▲スマートシティ実現に向けた人流データ等の分析・活用 ▲３D都市モデルの利活用 ▲政策形成におけるEBPMの積極的な活用 ▲ライトラインの整備・運営に関するデータ分析 ▲医療・介護等のデータ分析による健康づくりや社会課題解決に向けた事業の立案 【新】▲BIツールの活用検討	**▼AIカメラなどのセンシング技術を活用したデータ収集の拡充** **▼市民によるデジタルを活用した地域課題の解決（Civic Tech団体等の立ち上げ支援など）** （⇒【新】◇市民によるデータを活用した地域課題解決の機運醸成）	ＡＩカメラやセンシング技術等を活用したデータ収集手法の検討	実証⇒実装			

市民と協働した地域課題解決への道を探っていきます

令和７年度「ＤＸ実現タスク」に係る今後のスケジュール

令和７年２月～　庁内での会議を経て公表，委員へ書面で提供

４月～　新たなタスクに基づく事業展開

⑵　意見交換

本日の意見交換のテーマについて

宇都宮市 Utsunomiya City

➢ 第１回懇談会でいただいた主な論点について，ご所属の団体に関連深いものに関する今後の取組や課題についてのご発言をいただきたい。

【第１回懇談会でいただいた主な論点】

①高齢者や情報弱者へのデジタル活用支援	②中小企業のＤＸ推進	③文化・社会教育分野でのデジタル活用	④エネルギー・環境対策	⑤レジリエンスとＤＸ

- 上記５つの論点に関連する本市の取組はお示ししたとおりであるが，ご所属の団体に関連深いものに関する今後の取組や課題についてご発言をいただきたい。

■ いただいたご意見・意見交換の結果の取扱いについて

- 「宇都宮市デジタル共創未来都市ビジョン」への参考とさせていただきます。
- 本懇談会の議事録作成にあたって，ご意見内容や発言者名の記載可否を事前に確認させていただき，了承を得た範囲で市ホームページ等に公開します。